

新オーバーホール規定

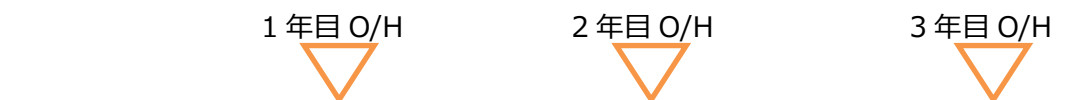
新しく販売される AUP 製レギュレーターのオーバーホール規定が改定されました。

従来、レギュレーターのオーバーホールは、毎年一回行わなければ保証の対象とはなりませんでした。

AUP 本社で、過去のデータより販売してから 3 年以内の部品消耗が非常に少ないことが判明いたしました。

これにより、日本ではご購入から 3 年間以内のオーバーホール (O/H) は推奨致しておりません。また新しいスキームは、ランニングコストの低減がはかれます。

□従来のスキーム



□新しいスキーム



点検は、3500 円 (税別) 掛かります。不具合が発見された場合のみ部品交換が行われます。
(部品の交換は担当する技術者の裁量に委ねられます)

新しいオーバーホールは原則として、潜水が終了した後、ダイブサイトで良く真水でリンスし帰宅後はダストキャップがしっかり閉めてあることを確認した後、ぬるま湯に一晚漬けておくことが望ましい (仕舞湯に漬けておくことをお勧めします)

O/H の間隔が長くご不安を感じる方は、従来通りのオーバーホールもお受けいたします。
オーバーホール料金と工賃は発生致します。

※毎年の点検はスキップできません。年毎の点検を受けなかった場合は、レギュレーター保証の対象とはなりません。